

## 【活動基本方針】

### ■基本方針

日本建築家協会（JIA）は、これまで多くの活動を通じて実績を重ね、建築設計界のリーダーとしての地位を確立してきました。とくに建築家の業務報酬、設計契約、設計者選定、入札問題など業務環境の改善の取り組みや、建築家資格制度の確立のための活動など、議論を重ね一步一步前進してきました。

しかし現在も同じ問題を抱えながら、新たな課題にも直面しています。建築家の業務内容の多様化や新たな発注方式、急速に進む設計環境のデジタル化やウィズコロナ社会への対応、更に学生の建築家志望減少などです。私たちは、建築家を取り巻く厳しい環境を認識し、解決に向けて積極的に取り組む必要があります。

同時に、地球環境問題に対応する建築のありようを具体的に示す必要に迫られ、SDGs への取り組みなど建築家の責任はますます重くなっています。また築 40 年足らずで建物が取り壊される経済重視の社会風潮に対し、まちづくりや社会資源の大切さなど、建築家が社会に向けて声を上げる必要性も求められています。

私たちはこうした状況を認識し、社会に貢献する建築家として、その責任を確実に果たすことのできる環境を築くために、「魅力ある JIA・行動する JIA」を目指し活動していかねばなりません。

### ■活動方針

「魅力ある JIA・行動する JIA」とするため

1. JIA 活動の活性化と社会への発信を推進します。
2. 建築家の職能及び資質の向上を推進します。
3. 建築家が社会貢献しやすい組織づくりを推進します。

## 【活動計画】

一昨年から重点課題として取り組んだ〈ウィズコロナ・アフターコロナ社会に向けた JIA 活動の模索と対策〉は、オンライン化の整備と会員への普及により一定の成果が出ています。移動時間が不要になり、遠方の会員同士のコミュニケーションなども気軽に行えるようになりました。この手法を最大限活用し会員間の連携や課題に対しての情報交換、意見交換を更に活発化させます。またリモートだけでなく、更に対面での交流ができるウィズコロナの社会に対応できる仕組みづくりも積極的に取り組みます。今年度の重点活動は活動方針に基づき以下とします。

### 1. JIA 活動の活性化と社会への発信

- ① 委員長会議・地域サミットの合同会議
- ② 法人協力会員主催のオンラインセミナー
- ③ 学生会員・若手会員のフォローおよび活動ステージの整備
- ④ 多彩な手段による戦略的広報の展開

## **2.建築家の職能及び資質の向上**

- ① 建築家資格制度の推進
- ② 業務環境の改善（設計監理報酬、知的財産、発注者支援など）
- ③ まちづくり、保存、災害対策、環境など社会公益活動の推進

## **3.建築家が社会貢献しやすい組織づくり**

- ① オンライン・プラットフォームを活用したウィズコロナでの活動方法の検討
- ② 会員増強と会員減少に耐える財政体制の検討
- ③ JIA 活動における収益事業の模索